

令和4年度入学試験問題（前期日程）

小 論 文

（初等教育教員養成課程 幼児教育選修）

注意事項

1. 解答は、すべて別紙解答紙の指定の箇所に記入すること。
2. 解答紙には、必ず受験番号を記入すること。

〔1〕 以下は、15歳児を対象とする、2018年の学習到達度調査(PISA)¹⁾の一環で実施された「1週間のうち、教室の授業でデジタル機器²⁾を使う頻度」の調査結果をもとに作成した表です。この結果からどのような傾向を読み取り、考察しますか。あなたの考えを1,000字以内で記述してください。

1週間のうち、教室の授業でデジタル機器を使う頻度(2018年)

| | | 1時間以上 | 30分以上、 1時間未満 | 30分未満 | 利用しない | この教科を受けていない | 無回答・ その他 |
|------|---------|-------|-----------------|-------|-------|-------------|-------------|
| 国語 | 日本 | 3.0% | 2.4% | 8.6% | 83.0% | 0.7% | 2.3% |
| | OECD 平均 | 12.3% | 10.3% | 21.9% | 48.2% | 0.8% | 6.4% |
| 数学 | 日本 | 2.6% | 1.9% | 3.3% | 89.0% | 0.7% | 2.5% |
| | OECD 平均 | 9.6% | 9.0% | 19.2% | 54.4% | 0.8% | 6.9% |
| 理科 | 日本 | 6.2% | 5.3% | 7.5% | 75.9% | 2.3% | 2.8% |
| | OECD 平均 | 11.7% | 12.8% | 22.1% | 43.9% | 2.6% | 6.9% |
| 外国語 | 日本 | 8.6% | 6.8% | 14.2% | 67.0% | 0.9% | 2.6% |
| | OECD 平均 | 10.8% | 11.6% | 22.0% | 43.2% | 5.3% | 7.1% |
| 社会科 | 日本 | 8.2% | 6.0% | 7.0% | 75.0% | 1.3% | 2.4% |
| | OECD 平均 | 11.3% | 10.5% | 18.2% | 45.6% | 7.4% | 7.0% |
| 音楽 | 日本 | 1.3% | 3.1% | 4.8% | 60.4% | 27.6% | 2.7% |
| | OECD 平均 | 4.7% | 6.2% | 11.5% | 44.0% | 26.4% | 7.1% |
| 保健体育 | 日本 | 2.8% | 5.6% | 3.8% | 84.0% | 1.2% | 2.6% |
| | OECD 平均 | 3.8% | 5.0% | 10.1% | 68.6% | 5.4% | 7.1% |
| 美術 | 日本 | 0.5% | 1.2% | 2.4% | 56.8% | 36.5% | 2.6% |
| | OECD 平均 | 4.5% | 6.8% | 13.9% | 42.3% | 25.6% | 7.0% |

注

1) 調査の概要は以下の通りです。

- ① 参加国が共同で国際的に開発し、実施している 15 歳児を対象とする学習到達度調査(PISA)。
- ② 2018 年に 79 か国・地域(OECD 加盟 37 か国, 非加盟 42 か国・地域), 約 60 万人の生徒を対象に調査を実施。
- ③ 調査の国際的な実施体制としては, OECD が中心となって, 調査参加国の代表が構成する委員会や複数の国際請負機関により運営。日本では, 国立教育政策研究所を中心に, 文部科学省と連携・協力して調査を実施。
- ④ 15 歳児に関する国際定義に従って, 日本では, 調査対象母集団を「高等学校本科の全日制学科, 定時制学科, 中等教育学校後期課程, 高等専門学校」の 1 年生, 約 116 万人と定義し, 層化二段抽出法によって, 調査を実施する学校(学科)を決定し, 各学校(学科)から無作為に調査対象生徒を選出した。調査には, 全国の 183 校(185 学科), 約 6,100 人の生徒が参加(2018 年 6 月から 8 月に実施)。

2) ここでデジタル機器とは, 携帯電話, デスクトップ・コンピュータ, ノート型コンピュータ, タブレット型コンピュータ, スマートフォン, ゲーム機, インターネットに接続しているテレビなど様々なものを指します。

出典

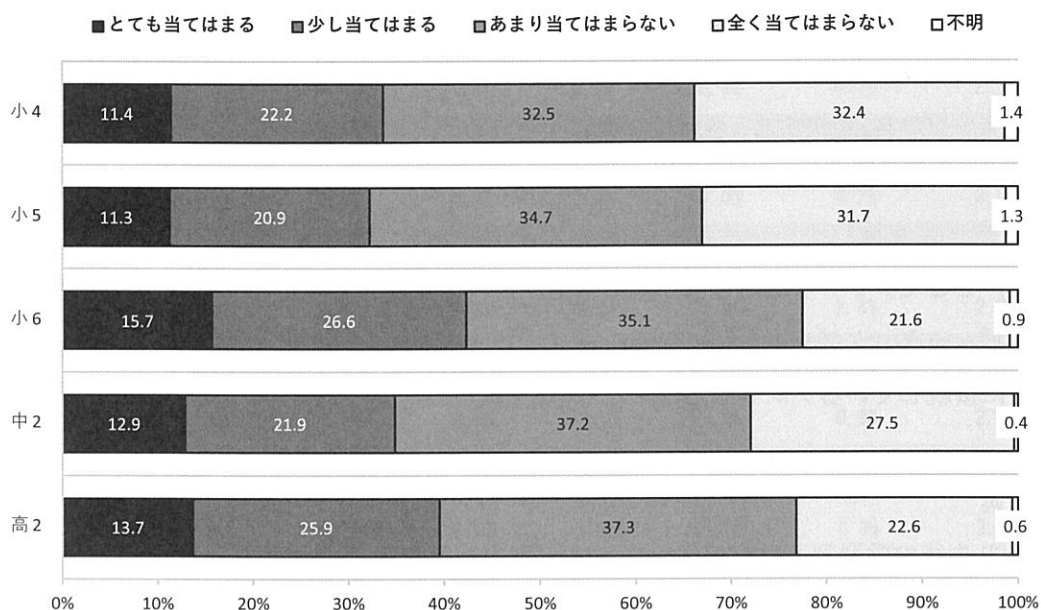
OECD 生徒の学習到達度調査(PISA)2018 年調査補足資料(生徒の学校・学校外における ICT 利用)

https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/2018/06_supple.pdf

問題は次頁に続きます

〔2〕 以下のグラフには「国や地域の政治や選挙について関心がある」という項目について自分に当てはまると思う程度が示されています。このグラフは、令和2年1月～同年4月に、全国の公立小学校1年生・2年生・3年生の保護者、全国の公立小学校4年生・5年生・6年生とその保護者、全国の公立中学校2年生、そして全国の公立全日制高等学校2年生を対象に実施された「青少年の体験活動等に関する意識調査（令和元年度調査）」の結果の一部です（結果に基づいて、グラフは独自に作成しました）。回収された子どものサンプル数は14,477でした。

この資料と関連づけながら、社会への参加意識に関する教育について、あなたが考えたことを1,000字以内で述べて下さい。



国や地域の政治や選挙について関心がある

出典

国立青少年教育振興機構（2021）. 青少年の体験活動等に関する意識調査（令和元年度調査）報告書 独立行政法人国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター
https://www.niye.go.jp/kenkyu_houkoku/contents/detail/i/154/（2021年7月20日）